

① 危険物仮貯蔵仮取扱承認申請書

③ 上越地域消防事務組合 消防長 殿		② 平成〇〇年〇〇月〇〇日	
		④ 住所 申請者 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 〇〇工場株式会社 氏名 代表取締役社長 消防太郎 印	
承認を受けようとする者の住所・氏名		⑤ 〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 〇〇工場株式会社 代表取締役社長 消防太郎	
仮貯蔵、仮取扱いの場所		⑥ 〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 〇〇工場株式会社 東側空地	
期間		⑦ 平成〇〇年〇〇月〇〇日 ~ 平成〇〇年〇〇月〇〇日	
危険物の類、品名（指定数量）、最大数量		⑧ 第4類第1石油類 ガソリン 3,000L	指定数量の倍数 15倍
現場責任者の氏名 連絡方法		⑨ 〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 上越太郎 （電話 〇〇〇-〇〇〇〇）	
仮貯蔵・仮取扱いの場所	周囲の概況	⑩ 周囲は火災予防上支障のない場所（付近状況図参照）	
	区画	⑪ バリケードを設置	
	消火準備措置	⑫ 第5種消火設備 10型粉末消火器 2本	
	標識掲示	⑬ 見やすい箇所に掲示板・標識・火気厳禁（規則のとおり）	
	その他	⑭ 出入りの管理を徹底し、いたずら・盗難を防止する。 作業前後に点検を行い、その結果を記録する。 仮貯蔵・仮取扱の方法は別紙とおり。	
※ 受付欄		※ 承認	※ 手数料欄

- 備考
- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 法人にあっては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
 - 仮貯蔵、仮取扱いの場所の周囲の概況は、その場所から最も近い物件等までの距離、用途、構造等を記入すること。
 - 周囲の状況を表示した図面を添付すること。
 - ※印の欄は、記入しないこと。

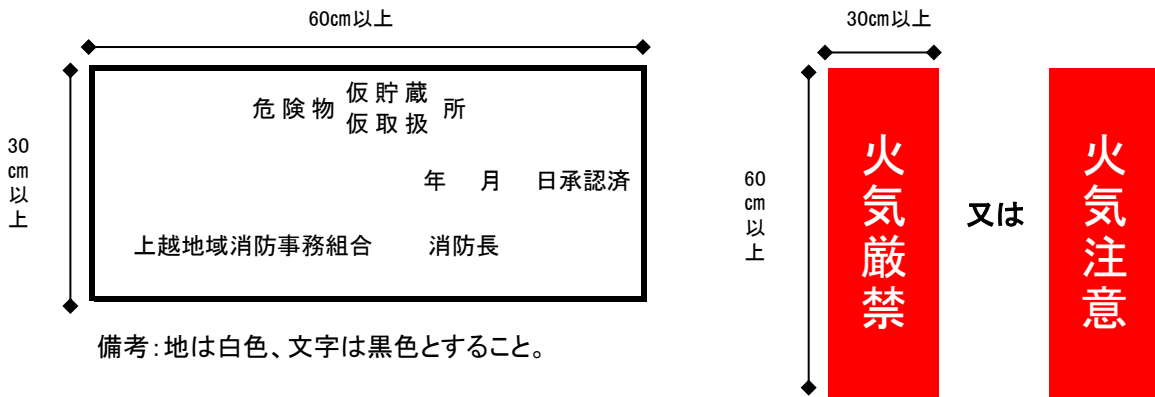
[危険物仮貯蔵・仮取扱い承認申請書記入要領]

- ① 仮貯蔵、仮取扱いのいずれか一方しか行わない場合は、実施しない申請を二重線で抹消する。
- ② 申請日(申請提出日)を記入する。
- ③ 宛先は、「上越地域消防事務組合 消防長」と記入する。
- ④ 「申請者」欄は、申請者が法人の場合は、その名称、代表者氏名、事務所の所在地及び電話番号を記入する。
- ⑤ 「承認を受けようとする者の住所・氏名」欄は、仮貯蔵又は仮取扱い(以下「仮貯蔵等」という。)を行う危険物の所有者、管理者又は占有者について記入する。
- ⑥ 「仮貯蔵・仮取扱いの場所」欄は、仮貯蔵等を行う場所の所在地及び名称を記入する。
- ⑦ 「仮貯蔵・仮取扱いの期間」欄は、期間が10日以内になるよう年月日及び期間を記入する。
- ⑧ 「危険物の類、品名(指定数量)、数量」欄は、類、品名、仮貯蔵等をする最大数量及び指定数量の倍数を記入する。
- ⑨ 「現場責任者の氏名、連絡方法」欄は、現場管理責任者の住所、氏名及び緊急連絡先を記入する。
 なお、危険物取扱者が作業に従事する場合は、危険物取扱者免状の写しや氏名及び資格の種類等を記載した書類を添付する。
- ⑩ 「周囲の概況」欄は、仮貯蔵等を行う場所から最も近い物件等までの距離、用途、構造等を記入すること。
 なお、周囲の付近状況図等を添付すること。
- ⑪ 「区画」欄は、屋外の場合はバリケード・柵等の設置を、屋内の場合は建築物の構造等を記入すること。
- ⑫ 「消火準備措置」欄は、貯蔵等を行う危険物に適する消火設備と数量を記入すること。
- ⑬ 「標識掲示」欄は、上越地域消防事務組合危険物規制規則第3条に示す標識掲示を記入すること。
 ※下図参照
- ⑭ 「その他」欄は、仮貯蔵等の方法及び静電気対策や流出防止措置等の安全対策を具体的に記入する。

※ 各欄の記入事項を別紙にして添付することもできる。

【仮貯蔵等の標識及び掲示板】

様式第3号(第3条関係)



様式第4号(第3条関係)

